要部の責任者との会合で活動方針を決定して実行にうつすこと。

宣伝隊（ビラまき隊 旗[?]隊）にはなるだけみんなが参加すること。

よその争議団へは二十人三十人の応援隊を送り込んで活動させること。俺達は一人残らず責任ある活動の部署について働らく人だ！

職場へ乗り込め

職場へ三十人ばかり乗り込んで気勢をつくれ。職場の味方はみんな待ってゐるんだ。

バス争議に於ける作戦

バスの料金が切れるのを会社は利用してバスを取りはづしにして俺達を切崩さうとしてゐる。話をきめたことはこんな風に[illegible]捉て了るのだ。みんなで押しかけてバスを出させろ。

会社は俺達をおどかすために[illegible]を出すかも知れぬ。けれども一まとめにしてみんなで会社へ返してしまへ。俺達の団結の強さを思ひ知らせてやるんだ。

（四）家にこまらぬようにするには（つづき）

今日になってやっと仕事が求まった。資本家の社会といふ奴は俺達労働者にはどこもかしこも不自由に出来てゐる。俺達はどうしたら自由と生活の向上とが得られるのか？

俺達の団結の力で資本家諸君[?]を倒さなければいけないんだ。

議会は始まる。失業者が町[?]に五十万も路頭に迷ってゐるのに代議士共は下らぬヤジばかりやったり殴り合ひをやったりしてゐる。代議士[?]は俺達労働者の生活については、何一つまじめに考へてはゐない。三井三菱の金融資本家共はみんなが議会に手を突っ込んでゐる。[illegible]に政府をつかってどしどし労働者を首切る計画を進めてゐる。三井を大将とする資本家階級の指導部は代議士共を議会で踊らせてみんなの注意をソッポへそらせておいて自分は仕事をやってゐる。

（以下次号へつづく）

1931.2.16.

[illegible]

[illegible]にするには

——[illegible]について——

[illegible]

婦人労働者は

[illegible]